

花いっぱい運動



左から野澤さん・岡田さん・岡村さん

「この花しかない！！」 環境保全に優れた植物「キリンソウ」に出会って

皆さん、狭山台を通る県道126号線の交差点周辺にプランターが置かれているのをご存知ですか。この事業を進めている「狭山台地域づくりをすすめる会」の岡田さん達にお話を伺いました。

——「花いっぱい運動」とは？

県道の4車線化に伴って減少してしまった緑を補うために始めた手造りプランターの花壇を設置する運動のことです。

——なぜ、キリンソウを『この花しかない』と思われたのですか？

花壇ができ上がっても、夏の水やりや雑草の刈り取りなどの手間が大変です。常緑キリンソウは不織布の袋に植える事で、雑草も生えず水やりの必要もなく、管理の手間や費用が少なくてすむからです。秋には新芽を付け、冬を越して初夏には、星形の小さい黄色の花がかたまって咲きます。5年経っても20cm程の丈にしかならず、枯れた葉は袋を通してそのまま肥料となります。また、CO₂の固定度が芝生の3倍もあり、放射能を吸着しないという環境保全に最適な植物だからです。

——今後の活動予定は？

昨年1月には24個のプランターを県道脇に設置しました。今年の1月に追加した24個のプランターと合わせ、経過観察をしていきます。

記者雑感 お話を伺って、ボランティアの方々のご苦労を思いながら、6月には咲く黄色い小さな花の「常緑キリンソウ」の生育を楽しみたいと思いました。



常緑キリンソウ

まちかど情報室

陶芸教室

「地域のふれあいは陶芸から」 土こねて、ろくろを回して楽しもう

狭山元気プラザでは「狭山台陶芸教室」が月3回開かれています。狭山台在住の坂村美恵子さんを講師に迎え、現在12人で活動中です。初めは初心者だった皆さんですが、今では毎月、様々な作品を完成させています。教室の活動の大きな柱の一つが地域貢献活動です。今年度は「夏休み親子陶芸教室」を開催し、受講生が中心となって狭山台地域の親子に抹茶茶碗作りを指導しました。焼きあがった自作の茶碗に狭山の抹茶「明松」をたて、お茶会も開きました。今後もこうした活動を行っていく予定です。陶芸教室のメンバーと一緒に生きがいづくりや、地域の方々とのふれあいをしてみませんか。



親子陶芸教室の様子



4月生を募集します！！

[日 時] 毎月第1、2、4水曜日 9:30~11:30
[場 所] 狭山台地区センター別室(狭山元気プラザ内)
[定 員] 6名(先着順) **[費用]** 2,500円/月
[申込み] 2月17日(火)9時から狭山台地区センター別室へ Tel:04-2958-6701
[見学と説明会] 3月11日(水)10:30から(見学後説明会)

よろず報告

寿大学「介護予防」

1月21日(水)、寿大学では富士見・狭山台地域包括支援センター職員による介護予防についての講義が行われ、今、世間で関心の高い「認知症」について学びました。また、登録店に通ってスタンプを貯めると「ちょっと嬉しいプレゼント」がもらえる「コバトンお達者倶楽部カード」も配られました(65歳以上の方が対象)。地域包括支援センター、狭山台公民館ともに登録店になっていますのでぜひチャレンジしてみてください。何がもらえるかは楽しみです。



折り紙ボランティア養成講座

◎班別対抗鶴折りゲーム大会



本講座も9回目になりました。1月28日(水)は、鶴折りゲーム大会を4班対抗で行いました。模造紙を使って班員全員で一人一折りして回しながら、一番美しい折鶴づくりを競いました。ルールは「口は出すけど手は出さない」。1期生の厳しい審査の結果、3班が優勝しました。また、風船の基本形からハサミやカッターを使い、立体飾りの「春」を作りました。ロビー展示している宿題の「小花の薬玉」はミニ折紙を30枚使用しています。

味噌づくり教室

1月30、31日(金・土)の2日間、狭山台公民館にて味噌づくり教室を実施しました。講師の山根静子さんの指導でおよそ3.5キロの味噌をそれぞれ仕込みました。参加者からは「久しぶりに夢中で作業をして充実した時間だった」、「他の参加者との交流も楽しかった」などの感想がありました。梅雨明けに味噌を空気に触れさせる「天地返し」を行い、食べられるのは半年後以降となります。今から出来上がりが楽しみです。



狭山台APOC防犯研修会

1月31日(土)、狭山元気プラザにて、狭山台アポック防犯研修会が開催されました。各自治会が防犯パトロールの実施方法について報告し、地域安全功労表彰を受けた狭山台2丁目通学児童見守り隊の活動の発表がありました。狭山警察署の警察官が、実際に起こった振り込め詐欺を、迫真の演技で演じ、被害にあわないよう話していただきました。また、狭山市交通防犯課の交通指導員さんが、自転車を使いながら、自転車の交通法規の変更についてわかりやすく説明してくれました。

